

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センター こどもの森 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 16日 | ～ | 令和 8年 2月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 16日 | ～ | 令和8年 2月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 3月 21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼で、一日の流れやクラスごとの活動内容を全体で共有するようにしている。 ・児童の変化やお薬の変更、保護者の方からの伝達事項など全体で共有するよう努めた。 ・朝礼時不在の職員もいる為、朝礼の内容は記録で毎回残り確認できるようにした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中でも情報の共有をしっかりとできるよう、検討や工夫をしていく。 ・今後も活動内容を充実したものとなるよう、情報共有を効率的に行っていく。 |
| 2 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やコドモン、送迎時間を活用しやり取りを行っている。必要に応じて電話を行っている。日頃の活動の様子や表情などが分かるよう写真やコメントを添えるよう工夫している。 ・いつもと違う様子があった際には電話をし確認をするなど小さな変化も見逃さないよう職員全員で意識している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の方に発信する際は、誤解や認識のずれが生じないよう配慮する事や保護者から頂いた意見を共有、検討していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置基準は満たしているが、職員の欠席がでた際に補助ができない。 ・担当者会議訪問支援に関わる時間の設定が難しい。 ・職員のお休みが重なると安全面に不安がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務の見直しを進めていながら、細やかに情報を共有、連携を図りながら療育の充実に向けて取り組んでいく。 |
| 2 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚の苦手な児童も多く、個別での対応が必要である為、スペースが足りない事がある。 ・気持ちが落ち着かない児童を対応する為のスペースの確保が難しかった(落ち着ける環境の確保、環境の整備等) | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性に合わせて対応できるよう環境の整備や設定を見直していく。感覚過敏がある児童が気持ちを落ち着かせる事ができるようなスペースを作れるよう検討をしていく。 |
| 3 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等に併用しているおきさんは交流があるが、そうでないおきさんは交流の場が持てていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流できる機会を持てるよう協議していく。 |